

人権のひろば



Vol.228

「人権のひろば」に対するご意見、ご感想は戦略企画室広報広聴グループまでお寄せください。

ごみを減らして

きれいに住みよいまちへ

増え続けるごみ

人は誰しも、健康で豊かな生活を送る権利を持っています。しかし戦後の経済発展で、物がたくさんあることが豊かさの表れという考え方や、便利さを求めることにより、大量生産・大量消費の時代となりました。その結果、私たちの暮らしはごみの大量発生や生活排水汚染などさまざまな環境問題を引き起こし、生活環境の悪化を招いています。

最近ニュースなどで、恵方巻の大量廃棄をはじめとする食品ロスや、海ごみ（プラスチックごみ）など、ごみに関する問題がよく取り上げられています。平成27年度の国内での品ロスは646万トンもの量になります。海ごみは、ポイ捨てや不法投棄をしたごみが雨や風で川に流れ、

海にたどり着き、海洋汚染を引き起こすことで、海の生き物たちに深刻な影響を与えています。海に流れたプラスチックは紫外線や波の力で細かく碎かれ、海の生き物が餌と間違えて食べることで、有害な化学物質が生物の体内に取り込まれます。そして食物連鎖を経て生態系に影響を与えるだけでなく、人の健康を脅かす恐れも出てきます。つまり、自分たちの出したごみで、自分たちの暮らす環境や健康を悪化させているということです。

安心安全な生活環境を確保するには？

まずは、ごみを減らすことです。生活する上で、ごみを無くすことは難しいですが、減らすことは私たち一人ひとりのちょっとした心掛けで簡単にできます。例えば、缶・瓶、

ペットボトル、新聞、雑誌などは、アルミや鉄、石油、木など自然の資源から作られています。これらの資源は使うとなくなる一方なので、一般ごみとして焼却するのではなく、専用のごみ箱に捨てて、その後加工して使えるようリサイクルすることが大切です。他にも、プラスチックにはエコバッグを持参して、買い物袋をもらわない、スプーンやストローなどが必要でないときはもらわない、といった心掛けがごみの減量につながります。

みんなでまちをきれいにするために

市ではポイ捨てごみによる環境汚染を防止するために、「だいとうクリーンウォーキー＆環境フェア」を開催し、自宅からイベント会場までのポイ捨てごみを回収する美化活動を行っています。他にも山ごみを減らす取り組みとして、飯盛ハイキング道を清掃する「山地美化ハイキング」、川や河川敷のごみを清掃する「恩智川クリーン・リバープロジェクト」などを実行しています。

毎日当たり前のように捨ててい

るごみですが、ポイ捨てを止め、ごみの減量やリサイクルをするなど、

一人ひとりのちょっとした心掛けや取り組みが、未来の環境を変えることにつながります。私たちだけではなく将来の世代にわたって、命と生活が守られる地球環境をつくっていきましょう。



恩智川クリーン・リバープロジェクトの様子

市税など納期限のお知らせ

お忘れのないよう期限までにお納めください。□座振替をご利用の人は預金の残高確認をお願いします。期限までに納付が困難な人は事前にご相談ください。

●対象となる料金 介護保険料（第1期）

●納期限 5月7日（火）

問 保険収納課 ☎ 870-9619